



オラ ニカラグア
Hola! Nicaragua

「甘楽町ニカラグア応援サポーター」 オリジナルTシャツを作成しました!



来年開催が予定されている東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、ニカラグア共和国を応援するため、甘楽中学校美術部と協力してオリジナルTシャツを作成しました。

オリジナルTシャツは、「甘楽町ニカラグア応援サポーター」にご入会いただいた人に、サポーターの証としてプレゼントします。

応援サポーターになって、ニカラグアや選手を応援しましょう!



〈前面〉

色はニカラグア国旗にちなみ、青と白の2色を用意。中央には鳥(アオムユハチクイモドキ)が町とニカラグアの友好を見守っています

前面には「Kanra Nicaragua」、背面には「Vamos Nicaragua」(スペイン語で「がんばれ ニカラグア」)の応援メッセージ入り



〈背面〉

Tシャツのデザインは甘楽中美術部の松井さん、江川さん

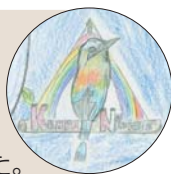
甘楽中美術部員の皆さん



ニカラグア応援Tシャツの作成にあたり、町から甘楽中学校美術部へ、性別や年齢を問わず幅広い層の人が着ることができ、ニカラグアをイメージできるデザインを募集しました。選考の結果、松井華さん(3年)、江川想乃さん(2年)考案のデザインを採用し、オリジナルTシャツを作成しました。

●江川さん(上写真右から4番目)

国旗の三角と虹のイメージが強かったのとカラフルな鳥がきれいだなと思い、大きく目立つようにデザインしました。これを着て、ニカラグアを応援したいです。



デザイン
原画

●松井さん(上写真右から3番目)

国旗の三角をベースにニカラグア講演会で聞いた有名なものを取り入れて描きました。これを機に甘楽中美術部の活動も多くの人に知ってもらいたいです。



デザイン
原画

甘楽町ニカラグア応援サポーターを募集します

町では、ホストタウンとしてニカラグアを応援し、両国・町の交流を促進させるため、「甘楽町ニカラグア応援サポーター」を募集します。

■問い合わせ 企画課

ニカラグア応援サポーター係
内線241



活動内容

オリンピック・パラリンピックにおけるニカラグア応援支援、選手来町時の交流事業支援、ホストタウン事業支援などへのボランティア参加(交通費・報酬などの支給はありません)

活動期間

登録を完了した日から2022年3月31日まで

入会費

2,000円(入会特典としてオリジナルTシャツをプレゼント)
※入会費は全額がホストタウン事業に使われます。

応募期間

2022年3月31日まで

応募方法

応募申込書を記入し、入会費を添えて左記へお申し込みください。※詳細は町ホームページをご確認ください。

自然の中で学ぶ体験活動 かんら保育園

ヤギに話しかけながら餌をあげる園児たち



かんら保育園では、恵まれた環境の中で自然と触れ合う活動を行っています。

動物との触れ合い

年長組園児36人は5月20日、上野のヤギ牧場に出かけ、ヤギと触れ合う体験を行いました。

歩いてきた園児たちの声を聞いたヤギ10頭は「メェ〜」と歓迎。近づいてきたヤギに餌をあげ、勢いよく食べる姿に園児は大喜びし、「またくるね」とお別れを言うと、ヤギも園児たちを見送るように鳴いていました。

食育活動

6月10日には、元園長の飯塚 章さん(小幡)の畑でタマネギの収穫体験をしました。

飯塚さんからタマネギのとり方を聞いた園児たちは、「よいしょ」と掛け声を合わせて大きなタマネギを収穫。園児は、自分の手よりも大きなタマネギが土の中から出てきたことに驚き、歓声を上げました。身近な食べ物の収穫を実際に体験し、さまざまな発見をした園児たちの顔は笑顔であふれていました。



タマネギを両手で力いっぱい引き抜く園児たち

甘酸っぱい懐かしの味 桑の実収穫体験



鈴なりになった完熟の実を収穫

桑の実収穫体験

桑の実収穫体験が6月6日から21日まで古民家かふえ信州屋東の甘楽くわの実桑園で行われました。同かふえや道の駅甘楽で買い物をした人が桑畑を見学し、昔懐かしの桑の実を収穫しました。

立野啓子さん(福島)は「とても大きな実がたくさんついていて驚きました。甘酸っぱくておいしく、小さいころによく食べた桑の実を思い出しながら摘みました」と話されました。

桑の実は、甘楽富岡蚕桑研究会により収穫され、「ジャム」や「ワイン」に加工して、道の駅などでも販売されます。